

第2学年 図画工作科年間学習計画

目標

- (1) 表現及び鑑賞の活動を通して、つくりだす喜びを味わうようにするとともに、造形的な創作活動の基礎的な能力を養う。
- (2) 造形活動を楽しみ、豊かな発想をするなどして、体全体の感覚や技能などを働かせるようにします。
- (3) 身の回りの作品などから、面白さや楽しさを感じ取るようにします。

年間指導計画

前期	○しんぶんしとなかよし	・新聞紙という大きな紙の質感や特徴を体全体を使った味わい、広げたり破いたり丸めたりしながら思いついた形をつくる。
	○ひかりのプレゼント	・光を通す材料の面白さに気づき、光を通してうつる形や色の見え方や見え方の変化を楽しむ。
	○にぎにぎ粘土	・握ってできた粘土の形から思いつき、手や指の感覚を働かせながら立体に表す。
	○ざいりょうからひらめき	・集めた材料の形や色、質感などの特徴を生かし、組み合わせたり加工したりしながら絵に表す。
	○たのしかったよ ドキドキしたよ	・毎日の生活の中で楽しかったことや頑張ったことを絵に表す。
	○くしゃくしゃぎゅっ	・くしゃくしゃにした紙をふくらませたり、ねじったり、しばったりして形を変えることを楽しみながら、お気に入りの「友だち」をつくる。
	○わっかで へんしん	・画用紙の丸め方や、在呂運のつなぎ方を工夫して、身につけて楽しく変身する飾りをつくる。
	○ひみつのたまご	・ひみつのたまごから出てくる物や生まれるお話を想像して絵に表す。
	○とろとろえのぐでかく	・指や手で思いのままにかくことを楽しみながら思いついたことを表し方を工夫して絵に表す。
	○まどをひらいて	・カッターナイフで紙にいろいろな切り込みを入れてできる窓枠を開く仕組みを使って思いついたものを表す。
○おもいでをかたちに	・嬉しかったことや楽しかったことを思い出しながら立体に表す。	

後期	○見てみておはなし	・物語の好きな場面を選び、想像を広げて絵に表す。
	○すてきなものいっぱい	・身近な材料の形や色の面白さに気付き、それらを並べたり組み合わせたりして楽しむ。
	○はさみのあーと	・白い紙をはさみでどンドン着ることを楽しみながら表したいことを見つけ、置き方や並べ方を工夫して表す。
	○だんだんだんボール	・開いただんぼーる箱を立てたり、つないだり、囲んだりして、思いついたことを試しながら材料や友人とかかわり合って楽しむ。
	○わくわく　すごろく	・お話や出来事がつながる楽しいすごろくを身近な材料や用具を使って作る。
	○ときめきコンサート	・たたいたり、はじいたり、振ったりして音が鳴る物を身近な材料を使ってつくる。
	○つないでつるして	・切ったり破いたりして細長くした紙を友人と協力しながらつないだりつるしたりしてつくる。
	○ストローでこんにちは	・ストローを組み合わせでつくった動く仕組みを基に、思いついた動くおもちゃをつくる。
	○ともだちハウス	・空き箱などの身近な材料を使って、小さな「友だち」が喜ぶ家を想像して立体に表す。
	○たのしくうつして	・紙を切ったりはり重ねたりして簡単な版を作り、表したいことを版に表す。
○ともだち　見つけた！	・顔に見える形を探す活動を楽しみながら、身の回りにある物に注目し、簡単なスケッチや絵に表し、友人に紹介する。	

評価について

- 思いのままに表したり、作品などを見たりしながら、つくりだす喜びを味わおうとする。
(造形への関心・意欲・態度)
 - 感じたことや材料などを基に表したいことを思い付いたり、形や色、つくり方などを考えたりしている。(発想や構想の能力)
 - 体全体の感覚を働かせながら材料や用具を使い、工夫して表している。(創造的な技能)
 - 身の回りの作品などの形や色などから、面白さに気付いたり、楽しさを感じたりしている。
(鑑賞の能力)
- ※ 作品、作品カード、鑑賞カード、友達の作品を見ての発言物などで評価し、学習指導に生かして

いきます。